

## 《「令和5年秋開始接種」における愛知県の新型コロナワクチン接種の取組》

- 2023年9月20日（水）から、「令和5年秋開始接種」が開始される。
- 接種対象は、初回接種を終了した生後6か月以上の全ての方となっており、使用するワクチンは、オミクロン株 XBB.1.5 系統に対応した1価ワクチンとなっている（その他組換えタンパクワクチンも可）。（詳細は以下のとおり）
- また、引き続き実施されている初回接種についても、2023年9月20日（水）以降、ワクチンを切り替えて接種を実施する。
- 接種を希望される方は、**特例臨時接種の期間である2024年3月31日（日）までの間、無料で接種を受けることが可能**となっている。
- 愛知県では、接種を希望する県民の皆様が安心して接種を受けることができるよう、また、副反応を発症した場合でも、きめ細やかにサポートを行うべく、引き続き、**次ページ以降の取組を実施**していく。

区分		令和5年春開始接種（2023年9月19日まで）	令和5年秋開始接種（2023年9月20日から2024年3月31日まで）	
追加接種	12歳以上	65歳以上又は基礎疾患あり 医療従事者等	接種対象 ○ 使用ワクチン ・ オミクロン株対応2価ワクチン ・ ノババックスワクチン※	
		上記以外 (健常な65歳未満)	接種対象外	
	5～11歳	基礎疾患あり	接種対象 ○ 使用ワクチン ・ オミクロン株対応2価ワクチン	接種対象 ○ 使用ワクチン ・ ファイザー社のXBB.1.5対応1価ワクチン ・ モデルナ社のXBB.1.5対応1価ワクチン（6歳以上） ・ ノババックスワクチン（12歳以上）※
		上記以外 (健常な小児)	接種対象外（追加接種（3回目以降の接種）の開始時期が遅かったため、未接種者は継続して接種可）	
生後6か月～4歳		接種対象外		
初回接種	生後6か月以上の全ての方	接種対象 ○ 使用ワクチン ・ オミクロン株対応2価ワクチン ・ 乳幼児用従来型ワクチン ・ ノババックスワクチン（12歳以上）※	接種対象 ○ 使用ワクチン ・ ファイザー社のXBB.1.5対応1価ワクチン ・ ノババックスワクチン（12歳以上）※	

※ ノババックスワクチンについては、現時点の使用期限が2023年10月25日（水）までとなっている。

## 事 業 内 容

### 「新型コロナワクチン小児接種センター」の継続設置

- 市町村の集団接種や地域の医療機関では対応が難しい、知的障害や発達障害、基礎疾患等があるお子さんを対象として、県の2か所の障害児及び小児の専門医療機関において「新型コロナワクチン小児接種センター」を引き続き設置し、接種を実施します（2023年9月26日（火）以降はXBB.1.5対応ワクチンを使用）。

会 場	接 種 実 施 日	接種規模
愛知県医療療育総合センター中央病院 (春日井市神屋町713-8)	毎週金曜：午後3時30分～午後5時	1日30人
あいち小児保健医療総合センター (大府市森岡町七丁目426番地)	毎週火曜：午後2時～午後4時30分 毎週木曜：午後2時～午後4時（※）	火曜：1日20人 木曜：1日10人

※新生児科を持つ「あいち小児保健医療総合センター」では、毎週木曜日、障害や基礎疾患がある乳幼児を対象に接種を実施しております。

### 「ノババックスワクチン接種センター」の継続設置

- 「令和5年秋開始接種」の使用ワクチンとして、ノババックスワクチンが引き続き位置付けられていることから、アレルギーなどによりmRNAワクチンが接種できない方の選択肢として、「愛知医科大学眼科クリニック MiRAI（ミライ）」において、「ノババックスワクチン接種センター」を引き続き設置し、接種を実施します。

会 場	接 種 実 施 日	接種規模	開 設 期 間
愛知医科大学眼科クリニック MiRAI (名古屋市東区東桜二丁目12番1号)	毎週日曜：午前9時～正午	1日70人	2023年10月22日（日）まで※

※ 開設期間については、ノババックスワクチンの有効期限（2023年10月25日（水）まで）に合わせ、10月22日（日）までとなっている。

### 「高齢者入所施設等、障害者（児）入所施設等への巡回接種促進に向けた県独自の財政支援」の継続実施

- 高齢者入所施設等を利用している高齢者や障害者（児）、在宅療養中の高齢者や障害者（児）に接種の機会を提供するため、引き続き、高齢者入所施設等への巡回接種促進に向けた県独自の財政支援を実施します。

＊施設への巡回接種：接種1回当たり 1,000円

＊在宅への巡回接種：訪問1回当たり 10,000円

### 「小児接種実施医療機関への県独自の財政支援」の継続実施

- 小児接種医療機関を確保し、希望する小児への接種の機会を提供するため、引き続き、小児接種（乳幼児接種を含む）を実施する医療機関に対して、接種費用に接種1回当たり1,000円を上乗せする県独自の財政支援を実施します。

## 事業内容

### 「ワクチン関連相談窓口、専門的医療機関による相談窓口」の継続実施

- ① 県民の皆様が、安心して接種を受けられるよう、また、副反応を発症された方が、円滑に医療機関等を受診できるよう、看護師による専門相談窓口を、引き続き設置します。

名称	電話番号	受付時間
ワクチン関連相談窓口	052-954-6272	平日午前9時から午後5時30分まで

- ② かかりつけ医など身近な医療機関では対応が困難な副反応の症状に対し、接種を受けた方が専門的な医療機関を円滑に受診できるよう、名古屋市内4病院、尾張地域4病院、西三河地域2病院、東三河地域1病院の、合計11か所の専門的な医療機関（県Webページで医療機関名を公表）の協力を得て、相談窓口を引き続き設置します。

### 「新型コロナワクチン副反応等見舞金」の継続実施

- 県民の皆様が、安心してワクチン接種を受けていただけるよう、接種後に副反応の症状を発症し、医療機関で治療を受けた県民の皆様で、国の健康被害救済制度の申請をされた方に対して、副反応等の治療に要した医療費（自己負担分）の2分の1を見舞金として、引き続き支給します。